

くさか景子の **ちよつ** よろしいですか！

と

毎月発行 県政情報紙 2009年5月 Vol 24

What's
New?

神奈川の米軍基地を知ろう！

沖縄に次ぐ「基地県」神奈川の基地対策

神奈川県には、昭和27年当時、米軍基地が162箇所、約3,590ヘクタールありました。その後の県・市・地元の基地返還運動により整理、縮小、返還がすすみましたが、今なお15箇所約2,090ヘクタールの米軍基地があり、県土の約1%を占めています。

県内の米軍基地としては、昨年、米空母ジョージ・ワシントンが入港した在日米海軍司令部のある横須賀米軍基地、厚木海軍飛行場、在日米陸軍司令部のあるキャンプ座間、相模総合補給廠などがあり、どれも人口の密集した地域なので、住民には大問題です。

神奈川県としては、関係市町と「神奈川県基地関係県市連絡協議会」を作り、国に対して、米軍基地のさらなる整理、縮小、返還、厚木基地の航空機騒音対策、日米地位協定の見直し等を定期的に要望しています。

茅ヶ崎市の東側、浜竹、松浪、赤羽根地域でも、厚木基地での航空機着陸訓練の爆音と墜落の不安に悩まされており、市民生活に様々な影響を与えています。

その対策として、防衛省は、二重サッシの住宅防音工事を行っています。その対象世帯は、茅ヶ崎市で2,900戸ありますが、申請方式で、わずか1割しか進んでいません。先日、浜竹のあるお宅におじゃまし、お話を伺いました。「一日何度も自宅の上を飛来し、その爆音で電話の声、テレビの音は聞こえません。国の全額負担(約300万円)で工事してもらい、防音となりましたが、屋根まではできないので、完全には解消されていません」ということです。

茅ヶ崎市も厚木基地騒音対策協議会に入り、国と米軍に、厚木基地での米空母艦載機の夜間連続離着陸訓練による騒音解消等の要請をしていますが、根本的には、訓練の硫黄島への移駐、もっと根本的には、日米協定の見直しをしない限り、今のところ防音工事に頼るしかありません。

また、茅ヶ崎市では、環境騒音調査を、赤羽根中学、松浪中学、皆楽荘、斎場4箇所で行い、騒音測定をしています。あくまで環境基準内となり、実際の飛来機数や人間の感じる騒音とは異なります。市としても、工事を希望する人には丁寧に対応し、特に、小中学校、保育園など、子どもたちの安心安全を守るべきでしょう。さらに小和田小学校で行っている国の爆音調査と連携して、さらなる対策の充実をはかっていただきたいと思います。



防音工事を行ったお宅を訪ねて

基地をめぐるバスツアー開催のご案内

5月14日(木)9時出発。キャンプ座間、厚木基地周辺を訪ねます。

是非ご参加ください。お申し込みは、くさか事務所まで。☎0467(58)0290



Change! みんなが主役

第5回全国女性議員サミット in 群馬(4月11日・12日)に参加して



1998年に青森県弘前市で第1回サミットが開催されてから10年、全国から大勢の女性議員が群馬に集いました。

女性の声をもっと政治の場へ。志を同じくする女性たちは、政治参画を推進し、男女共同参画社会の実現を目指して、全国で活動しています。世界の先進諸国では、意識的に女性を増やすために、クォータ(割り当て)やパリテ(男女同数)を法律で決めています。日本における女性国会議員はわずか9%に過ぎません。企業、行政はもとより、地域の中においても、女性の声を直接政策

決定に結びつけることが難しいのが現状です。

シンポジウムでは、党派を超えて女性国会議員が、政策決定過程への女性の参画を拡大する上での各政党での具体的な推進策を発表しました。私の参加した分科会では、全国で一番女性議員の多い長野県の元町議で政治学習塾の樽川さんから、半ば監禁状態で後継者に説得をした美談をお聞きした他、全国で女性議員を増やそうとバックアップスクールで頑張る女性たちの熱弁が続きました。

未だ根強く残る性別による固定的な役割分担意識や、それに基づく制度や慣行をはねのけ、地域や職場、家庭の中で、女性たちが発言し行動していこうと誓い合い、勇気や元気をもらったサミットでした。

くさか景子のほっとコラム

市民と医師がホンネで語る！第2回 医療危機を考える懇談会

公立病院が赤字で何故いけない！？



2007年12月、総務省は公立病院を抱える全国の自治体に対して「公立病院改革ガイドライン」を通知し、①経営の効率化 ②経営形態の見直し(民営化) ③再編・ネットワーク化について、2008年度中での改革プランを義務づけました。この改革プランをめぐって、全国各地で地域住民からの公的医療を守れという声が高まっています。今回の医療懇談会では、各地での事例報告を基に、参加者の皆さまとともに考え、検証していきます。

日時:5月23日(土)午後1:30~4:00

場所:神奈川県地域労働文化会館 (神奈川県自治労会館2階)

横浜市南区高根町1-3 ☎045(251)1888

横浜市営地下鉄 阪東橋駅下車徒歩2分

京浜急行 黄金町駅下車徒歩8分

主催 医療危機を考える懇談会 連絡先 依岡 桂美 ☎090-9689-1443